

令和5年度「隠岐広域連合地球温暖化対策実行計画」の取組結果について

1. 計画の概要

隠岐広域連合では事業活動に伴い排出される温室効果ガスを削減するため、「第4期隠岐広域連合地球温暖化対策実行計画」（令和4～令和8年度）を策定し、対策に取り組んでいます。※この計画における温室効果ガスは二酸化炭素（CO₂）としています。

■令和5年度の取組結果は以下のとおりです。

（単位：t CO₂）

	令和3年度 （基準年度）	①目標値 （削減率△18%）	②令和5年度 （実績）	目標値比較増減 （②－①）	前年度比較増減 （当年－前年）
二酸化炭素	2,808	2,303	2,420	117	△26

2. 温室効果ガスの排出状況

1) 主要項目別取組結果

■主要項目別では、電気、ガソリン、灯油、液化石油ガスにおける CO₂の排出量が目標値に比べて増加しています。

（単位：t CO₂）

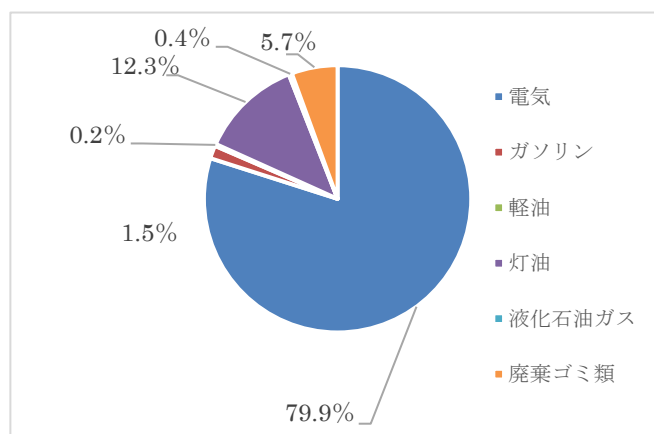
	令和3年度 （基準年度）	①目標値 （削減率△18%）	②令和5年度 （実績）	目標値比較増減 （②－①）	前年度比較増減 （当年－前年）
電気	1,771	1,452	1,934	482	116
ガソリン	34	28	38	10	△1
軽油	8	7	6	△1	△1
灯油	310	254	298	44	△6
液化石油ガス	9	8	9	1	1
廃棄ゴミ類	676	554	135	△419	△135

2) 要因別温室効果ガスの排出割合

■排出割合を見ると、電気が79.9%と約8割を占めています。

（単位：t CO₂）

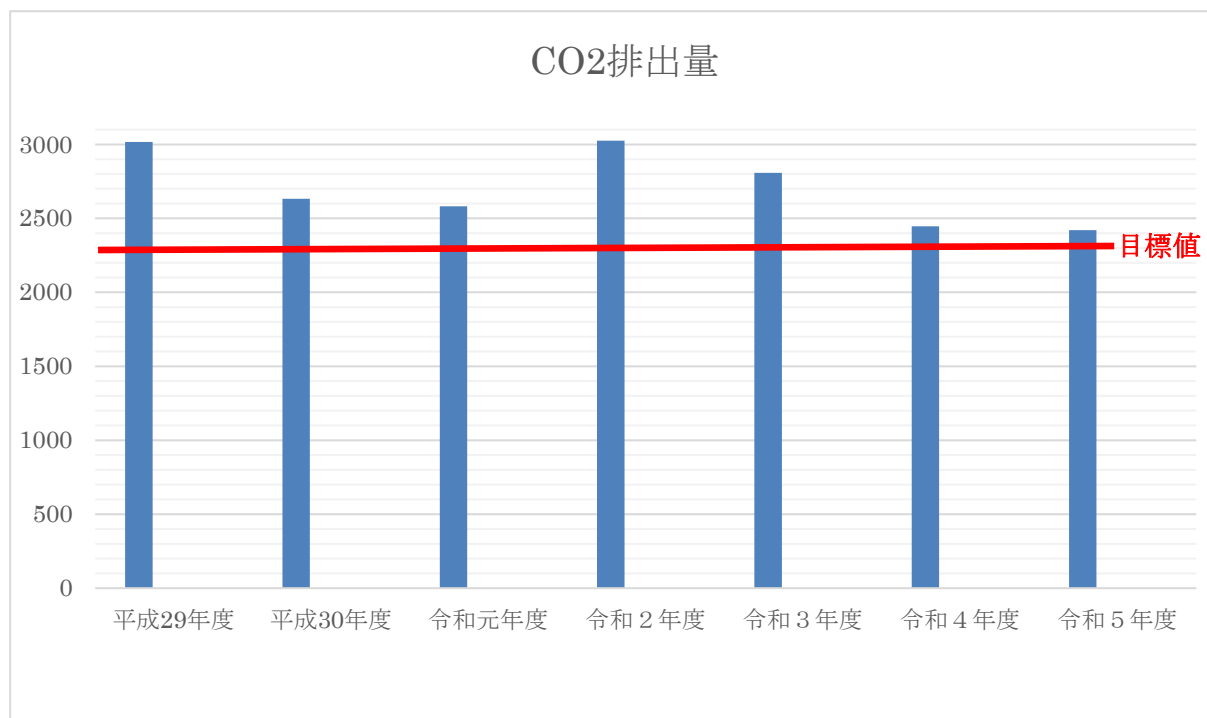
	令和5年度 （実績）	割合
電気	1,934	79.9%
ガソリン	38	1.5%
軽油	6	0.2%
灯油	298	12.3%
液化石油ガス	9	0.4%
廃棄ゴミ類	135	5.7%
合 計	2,420	



3) 取り組みの推移

■令和5年度は前年度と比較して1.1%の減少、目標値と比較して5.1%増となっています。

(単位: tCO₂)



3. 取組結果の状況

隠岐広域連合の温室効果ガスの総排出量は、前年度に比べ若干減少し、目標値に近づきつつあります。

目標値へ到達できなかった要因としては、廃棄ゴミ類の減少により削減できたCO₂排出量以上に電気のCO₂排出量が増えてしまったためと考えられます。

4. 今後の取り組み

令和5年度の温室効果ガスの総排出量は、前年度に比べ減少させる事ができました。しかし、目標値にはまだ届いておらず、特に電気部門においては、温室効果ガスの排出量が増加しています。エコオフィスプランの推進等、関係各所で引き続き地球温暖化対策への意識を忘れず、光熱費等の削減に取り組んでいきます。